

V I D 1 0 B Ver.1.0
コントロールソフト 説明書

目次

- 1 . 構成品
- 2 . 使用環境
- 3 . インストール
- 4 . 起動方法
- 5 . 操作方法
- 6 . 動作テスト
- 7 . MODEM・TA接続
- 8 . PHSに接続
- 9 . 仕様

第 1.0 版 2001.9.1

株式会社メガトンハウス

1. 構成品

構成品をお確かめください。

・VID10B 本体	1
・ACアダプタ	1
・カメラコントロールケーブル	1(miniDIN8 - DSUB9)
・テスト用クロスケーブル	1(DSUB9 - DSUB9)
・インストールCD	1
・マニュアル(本マニュアル)	1
・保証書	1

2. 使用環境

Windows95/98/Me/2000 または WindowsNT4.0 がインストールされたパソコン

- ・VC-C4 コミュニケーションカメラ
- ・MODEM または TA 2 台

注意点：

PC は 115.2KBPS をサポートする COM ポートが必要です。

MODEM は 115.2KBPS の DTE スピードが必要です。

CPU は Pentium 133MHz 以上を推奨します。

メモリは 32Mbyte 以上を推奨します。

ハードディスクは約 5Mbyte 使用します。

MODEM・TA は同一メーカー同一機種をペアでご使用ください。

3. インストール

[コントロールパネル]・[アプリケーションの追加と削除]を実行してください。

次に CD を挿入し、「セットアップ」ボタンを押してください。

画面の指示に従いインストールを行ってください。

(アンインストールも同様にこの操作で行います。)

「アプリケーションの追加と削除」



補足：CD の SetUp.EXE を実行します。

4. 起動方法

スタートメニューから “プログラム” - “VID10B” - “VID10B” を選択することで実行できます。

5 . 操作方法

操作ウィンドウの全体です。

「電話」メニュー(接続・切断・電話番号登録)

現在カメラ位置を 1~10 ポジションに登録

カメラ名称(接続先名称)選択

静止画取込み(640×480)

ポジション名を入力

電話番号表示(または COM 番号)



スクロールバーはそれぞれ回線接続状態でのみ使用できます。

VC-C4 制御：パン・チルト・ズーム

通信デバイスを選択してください。

画面：画質・コントラスト・明るさ

電話番号の登録：

「電話」メニュー から、電話番号登録を選んでください。

次のウィンドウを表示します。



必要なカメラ名と電話番号を入力してください。

VC-C4R を接続の場合はチェックしてください。

終了させると、メイン画面に戻ります。

回線を接続：

カメラ名称 を選択してください。

通信デバイス を選択してください。(事前にモデムのインストールが必要です。注 1.)

「電話」メニューから接続を選択してください。

回線接続状態が通信デバイス下の枠に表示されます。

接続されると画面に”初期化中”メッセージの後、映像が表示されます。

回線切断は「電話」メニューから”切断”を選択してください。

カメラ制御：

縦横のスクロールバーでカメラを上下左右に制御できます。

また、ズームバーを操作すると、1 倍～16 倍のズーム制御ができます。

位置を記憶させて直ぐにその場所へ制御できる機能を、ポジション制御と呼びます。

ポジション制御ボタン を押すと登録させた位置へカメラを制御します。(パン・チルト・ズーム)

現在位置をポジションに登録するのは「ポジション登録」メニュー で行います。

そのポジションの名称は「ポジション名入力」メニュー で行います。

映像コントロール：

画質・明るさ・コントラストをそれぞれのバーで調整できます。

画質はきれいにすると、映像更新速度が遅くなります。

画質・コントラスト・明るさはVID10B側で制御しているので、映像に差が出てくるまで数秒かかります。

映像保存：

静止画取込(キャプチャ)で映像の保存ができます。

サイズは640×480です。

画質を上げてキャプチャを行うので、数十秒かかります。

タイムスタンプをファイル名にしています。(月日時分秒)

例：2月18日15：05：59にキャプチャ

ファイル名：0218150559.JPG

ファイルは"JPEG"フォルダに作成されます。

注1：TAのインストールについて

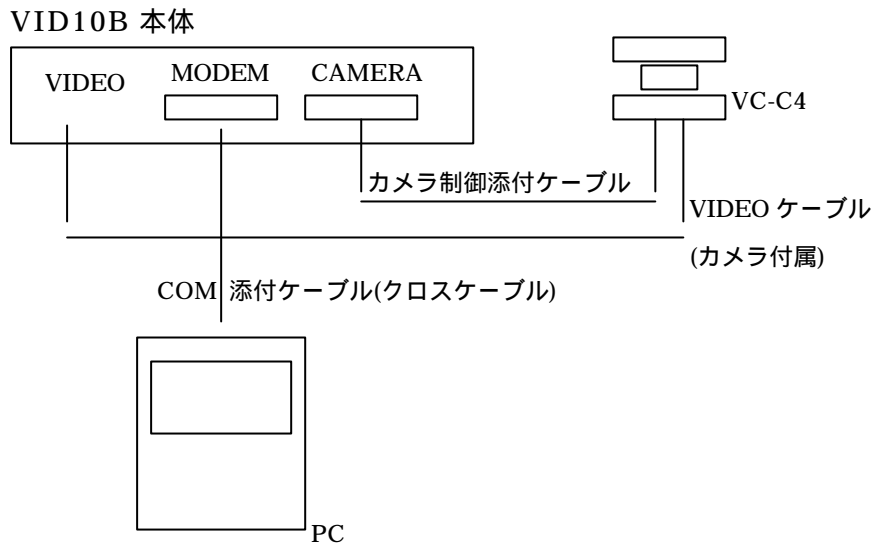
TAには"SYNC"モードと"ASYNC"モードがあります。

本機では"ASYNC"モードで動作します。TAインストールの際にご注意ください。

例：Atermの場合 "Aterm ASYNC115" の名称になります。

6. 動作テスト

まず MODEM・TA を接続する前に、直接パソコンに接続して動作テストを行ってください。



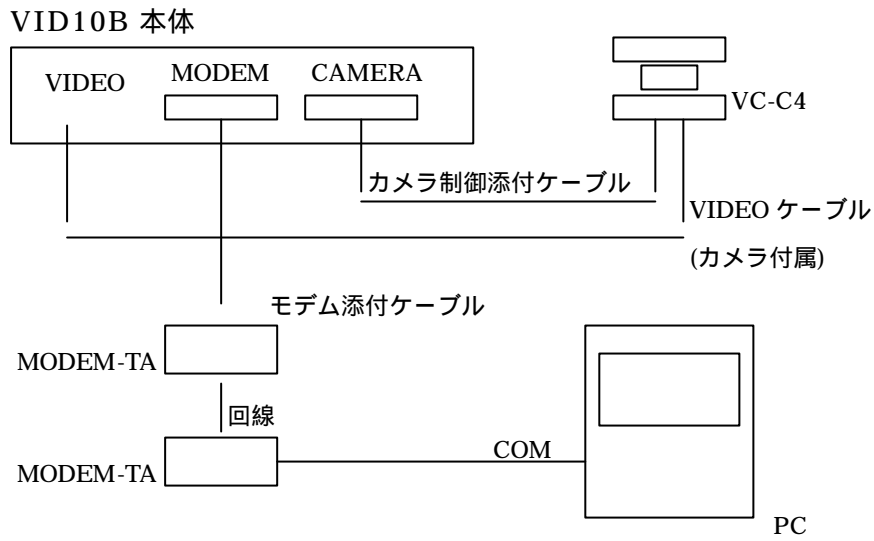
接続先に[ダイレクト接続 1]等を選んでください。

補足：電話番号個所が「COM1」、「COM2」、「COM3」.. など

“ COM + 番号 “ の場合ダイレクト接続とみなし指定番号の COM ポートを使い接続します。

7 . MODEM・TA 接続

VID10B と PC の間に MODEM または TA を接続します。MODEM はアナログ公衆回線、TA は ISDN 回線に接続して利用するように設計されています。ビジネステレホン等をご使用の場合は事前に電話販売メーカー等にご相談ください。



注意：MODEM との接続ケーブルは MODEM 添付のものをご使用ください。

パルス・トーン等の設定は「電話」メニューの「モデムの設定」で行ってください。

8 . P H S に接続

PIAFS 対応の TA を使用すると PHS と接続し通信できます。

TA に「PIAFS」ドライバーがある場合はこれをインストールし選択してください。

NEC 製 Aterm シリーズの場合は「電話」メニューの「モデムの設定」で表示されるプロパティウインドで「接続」、「詳細」を選び「追加設定」に次の文字列を設定して下さい

接続の詳細設定

エラー制御を使う(E)

接続に必要(R)

データの圧縮(C)

セルラープロトコルを使う(U)

フロー制御を使う(F)

ハードウェア(RTS/CTS)(H)

ソフトウェア(XON/XOFF)(S)

変調方式(M)

標準

追加設定(O)

\$N1=2

ログに追加(A)

ログの表示(V)

OK

キャンセル

ここに入力

補足：PIAFS 指定の場合は通信デバイスに SYNC を選択しても OK です。

9 . 仕様

外形寸法(mm)(幅×高さ×奥行き)： 132×38×160

電源： AC100V50/60HzDC6V アダプター

重量： 約 600g(AC アダプターを除く)

使用温度範囲： 0 ~ 40

使用湿度範囲： 10%RH ~ 90%RH(結露なきこと)

VID10B コントロールソフト 説明書

記載された商品名、社名等は各社の商標または登録商標です。

ご注意：

本製品の一部または全部を無断で複写・複製することは法律で禁止されています。

本製品の内容は将来予告なしに変更することがあります。

本製品及び本書の内容についてのお問い合わせは下記の連絡先までお願い致します。

お問い合わせ先：

株式会社 メガトンハウス 〒224-0041 横浜市都筑区仲町台 1-32-5

VID10B コントロールソフトユーザーサポート係り

ホームページ <http://www.megaton.co.jp/>

E-Mail support@megaton.co.jp

FAX 045-941-2210